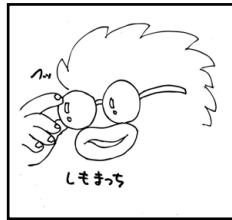


あちがく大好きさ

2019年度第8号



しもむら



これまでで最も印象に残った授業は？そのとき何を思った？
～中間テストの問題より～



自分が1学期の授業の中で最も印象に残っているのは、**素因数分解**についての下町先生の解説です。最初は「素因数分解」という言葉すら知らなかったため、これも勉強になりました。また、理解できたので最も印象に残っているからです。

最も印象に残っているものは、**累乗**をくわしくやったときの授業です。 2^{-10} や 10^{-20} または 2^{10} や 10^{20} という数は化学や物理でよく使われるものなので、これから化学や物理のような科目に役立てたいなと思いました。



文字式の始めの授業が心に残りました。言葉にも単位があるなら、言葉の計算もできるのかなと思いました。



私が最も印象に残っているのは下町先生の**最初の授業の時**です。正負の数について習って明るく楽しく図を描きながら授業をして分かりやすかったです。金魚を例にして考えたのを覚えています。また、**アイスブレイク**では**すごい難しいものが多かったけれどとても面白かったです。**例えば、4つの数字(1,2,5,8?)を使って1~51までの数をつくるという問題で、51まで作れるという新しい発見をしました。夢中になってしまって、家でもやってみました。2問分からなくて悔しかったです。これから授業でも楽しく学習できたらいいなと思います。



僕は**素因数分解が印象に残りました。**その理由は、この素因数分解ができれば、約数の個数も分かるので、非常に便利だと思いました。この方法は高校になってからも使うと言っていたので、どんどん使っていきたいです。そして素因数分解以外の方法も考えだしてみたいです。

私が一番印象に残っているのは**アリ**を使って「**なぜ(-)×(-)=(+)になるのか**」の説明を聞いたことです。当たり前なことだけど、いざ聞かれると説明できませんでした。しかし、数直線を使うととてもわかりやすかったです。自分でも説明できるようになりました。



最も印象に残っているのは**4人グループで50までの数を決めた数で求めること**です。30個ぐらいは制限時間内で解けましたが、他の人も見ると、3つを残して、47個終わっている人もいました。それがとてもすごいレベルだったということが残っています。



整数、自然数、分数がどうやってできるかななどの**仕組み**が分かり数学の基礎がよくわかりました。アイスブレイクでは、4桁の数字を使い、**1~50までの数字をつくるのが一番印象的でした。**家族や友達と考えるのが楽しかったです。数にはいろんな作り方があることを知りました。

私が数学の授業の中で最も心に残ったのは、**数学ワールドのお話**です。自然数アイランドから国、大陸、そして宇宙まで行ったのは、進むたびにドキドキして面白かったです。それと同時に、覚えにくい内容だと思っていた、加法・減法・乗法・除法の事まですると頭に入り、きちんと覚えることができました。この授業で、数学にはまだまだ未知の世界があるのだなと驚きました。



私が1学期の数学の授業の中で、最も印象に残っているのは、**中間テストの練習をした授業**です。150問以上ある問題を解いて、言葉の分野でできなかった問題が多くありました。その時、自分のできない分野が分かったから復習してテストに備えようとおもいました。



1学期の数学の授業で一番印象深かったのは**素因数分解の授業**です。わけは、素因数分解は素数だけの積である程度の数を表せると初めて知ったからです。

四則の正負の計算の時で、自分がかっこをまとめることのしくみについてよく分からなかったが、ちゃんとひもとくことができたこと。





下町先生に**2つのゼロがあることを教えてもらった**ときです。すべての数は1だったら1という意味が一つしかないのに、ゼロだけには2つの意味があることを知って、前から数学は好きだったけれど、さらに面白いなあと感じました。

自分が印象に残ったところは**減法です**。なぜなら、「 $2 - (-2)$ 」は $2 + 2$ になるのをただ、 $-$ が続くから $+$ になるのではなく、2より-2小さい数だから $2 + 2$ と、なぜそうなるのかを丁寧に説明してくれたからです。



私は1学期の数学の授業の中で最も印象に残っているものは、**累乗の授業です**。私はそれまで、 (-2^4) がなぜ、 -16 になるのか $(-2)^4$ がなぜ $+16$ になるのかを理解できませんでした。下町先生の授業を聞いて、どうしてなのかを理解することができました。自分の中でピースがパチッとはまったようなそんな感覚がしました。なので私は、累乗の授業が最も印象に残りました。



平均を出す問題が印象に残りました。習う前までは合計÷人数をしないといけなかったのに、今は基準から、多い・少ないを足せば答えがでるなんて、数学は算数より楽だなあと思いました。



頂どうしの計算で $1 - 2 - 1 = 1 - 3$ とどうしてそうなるんだろうとずっと疑問に思っていて、 $1 - 2 - 1$ は $1 - 3$ とまとめても答えは同じになる、そしてこれを**結合法則**ということを読んで**そうだったのかとやっと理解することができた**。もしかしてこれは加法や乗法でも使えるのでは・と思ひ、やってみたらできて、やっと結合法則を使いこなせるようになった。



負の数×負の数=正の数 になるのは時間で考えるといいということ、**逆数×逆数=1**は交換法則を使えばいいということ。

最初の授業では正負の数に関する言葉、加法、減法、乗法、除法など「たくさん覚えるのはいけない」と、数学はどうしてこんなにたいへんなのだろうと考えてしまい、数学がいやになったけど、先生の授業を受けているうちに、**先生が話している内容を頭の中で整理してみたり**することですぐにわかるようになり、今では数学を毎回楽しみにしています。



数の加減乗除についての説明していたことが印象に残っている。そのとき、数の世界はすごいなあと思った。



素因数分解の学習は少しだったけれど印象に残りました。なぜかというと、素数だけでその数のとなる式をつくれるなんておもしろい!と思ったからです。私はいろいろな数でやってみてルールなどを見つけてみたいなと考えました。



数学の授業で、**加法と減法のことを数直線で分かりやすく教えていただいた**ときに、高校のベクトルにつながると聞いたことが印象に残りました。このとき、ベクトルの矢印は曲線のものもあるのか考え、相似なども関係するのかなとも考えました。



私は**素因数分解が一番印象に残っています**。はじめは意味がよく分からなかったけれど、内容を理解したら面白かったし、素因数分解を使って約数を求められることを知れてためになりました。



私が最も印象に残っているものは、**分数の割り算をどうして逆数でかけるのか**を詳しく説明していただいたことです。先生やクラスの人が、面積の図で分かりやすく教えてくれました。その時、文字式の分数でも同じような方法を使えば自力で解けるのではと考えました。



「**マイナス×マイナスがなぜプラスになるか**」という授業が一番印象に残りました。本質を理解することって大事ななあと思いました。



皆さんコメントありがとう!

